

DO FOR OTHERS  
150<sup>TH</sup>  
ANNIV.



MEIJI GAKUIN  
UNIVERSITY  
明治学院大学

マスコミ関係各位

2013年7月17日

## 明治学院大学キリスト教研究所主催

### アウシュヴィッツのコレベ神父・原画展「絶望からの希望」

7月31日(水)～8月8日(木)まで開催

明治学院大学キリスト教研究所は、昨年に引き続き、アウシュヴィッツ強制収容所へ送られたコレベ神父を描いた原画展「絶望からの希望」を7月31日(水)～8月8日(木)まで開催します。

原画は、福島県白河市のアウシュヴィッツ平和博物館が所蔵するミェチスワフ・コシチェルニャック(1912-1993)のペン画11点を展示。また、展示会場では「絶滅収容所アウシュヴィッツ」のビデオを流す予定です。

この原画展は、本学キリスト教研究所提供科目の戦争と平和の問題を考える授業に連携して行われ、一般の方もご覧いただけます。ぜひイベントの告知ならびに取材をしていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

\* マキシミアノ・コレベ神父(1894～1941)

ポーランド生まれ。カトリック司祭(聖母の騎士修道会)として1930～1936年には長崎でも布教活動や孤児院の設立活動を行った。ナチスに批判的として41年にアウシュヴィッツ強制収容所収監。脱走の見せしめとして処刑されることになった妻子ある男性囚人の身代わりを自ら申し出、餓死牢に閉じ込められ、最後は毒殺される。

\* ミェチスワフ・コシチェルニャック(1912-1993)

ポーランド生まれ。画家。アウシュヴィッツで囚人となる。そこで、身代わりとなり、餓死刑に処せられたコレベ神父の最後の姿を隠れてスケッチする。「ランチシェク・ガヨヴニチェク氏の身代わりを申し出るコレベ神父」「看守たちの暴力の中でレンガを運ばされるコレベ神父」「日本への回想、コレベ神父」などのペン画が残されている。

◎アウシュヴィッツのコレベ神父・原画展「絶望からの希望」 ※入場無料、申込み不要

■日時: 7月31日(水)～8月8日(木) 10:00～16:00(土日は除く)

■場所: 明治学院大学 白金キャンパス 本館9階 キリスト教研究所

JR品川駅・目黒駅よりバスで10分 東京メトロ白金高輪駅、白金台駅より徒歩7分

※お車でのお越しはご遠慮ください。

■お問い合わせ: 明治学院大学キリスト教研究所 Tel 03-5421-5210(平日10:00～17:00)

取材のお問い合わせは…

明治学院大学 総合企画室(広報)

担当: 渡辺、宮城

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp

http://www.meijigakuin.ac.jp

アウシュヴィッツのゴルベ神父・原画展

# 絶望からの希望

開催日：2013年7月31日(水)～8月8日(木)

展示時間：10:00～16:00 (申込不要/入場無料)

※8/3(土)、8/4(日)は閉室です。

会場：明治学院大学白金校舎本館9階キリスト教研究所



ミェチスワフ・コシチェルニャック「身代わりを申し出るゴルベ神父」

マキシミアノ・ゴルベ神父  
(1894～1941)

ポーランド生まれ。カトリック司祭として1930年～36年には日本でも布教活動を行った。ナチスに批判的として41年にアウシュヴィッツ強制収容所に送られた。同年、脱走者の見せしめとして餓死刑に処せられることになった妻子ある男性の身代わりを申し出て、水や食料を2週間以上断られた後、薬殺された。

ミェチスワフ・コシチェルニャック  
(1912～1993)

ポーランド生まれ。画家。アウシュヴィッツで囚人となる。そこで、身代わり、餓死刑に処せられたゴルベ神父の最後の姿を隠れてスケッチする。「身代わりを申し出る瞬間」「刑執行を待つ姿」「囚人服で祈りをささげる姿」「看守に暴行を受ける姿」などのペン画が残されている。